

KT-5型シリーズ

〔 KT-5W 型
KT-5FW型 〕 水道法性能基準適合品
(耐圧性能・浸出性能)

KT-5 型

KT-5F 型

ストレーナ

取扱説明書



KT-5型ストレーナ



流れ・ビューティフル
株式
会社



はじめに

この取扱説明書は、K T-5、5 W、5 F、5 F W型ストレーナの取扱方法について記述しています。
本製品をご使用の前に熟読の上、正しくお使いください。

この取扱説明書は本製品を設置、および使用される方々のお手元に確実に届くようお取りはからい願います。

—— 製品の危険性についての本文中の用語 ——



警告 : 取扱を誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。



注意 : 取扱を誤った場合、使用者が軽い、若しくは中程度の傷害を負う危険が想定される場合、または物的損害・損壊の発生が想定される場合。

—— ご使用にあたっての警告・注意事項 ——

本製品のご使用にあたり、人身の安全および製品を正しく使用するために必ずお守りください。



警告

- 本製品を配管取付け後、流体を流す前に、配管末端まで流体が流れても危険のないことを確認してください。
※流体が吹出した場合、怪我をしたり、高温流体の場合、やけどをする恐れがあります。
- 製品にはむやみに触れないようにしてください。
※高温流体の場合、やけどの恐れがあります。
- ネットの清掃にあたっては、一次側の供給弁を止め、製品内の流体を徐々に排出して、圧力が零になっていることを確認すると共に、高温流体の場合は、本体を素手でさわられるまで冷してから行ってください。
※流体の吹出しにより、周囲を汚したり、怪我や高温流体の場合はやけどをする恐れがあります。



注意

- 本製品の分解にあたっては、熟練した専門の方（設備・工事業者の方など）が実施してください。
一般のご使用者は分解しないでください。ネットの目詰まりや異常がある場合は、設備・工事業者または、当社に処置を依頼してください。
- 本製品を使用する前に、使用条件と1頁の仕様とを確認してください。使用条件が仕様を満足することを確認の上、製品をご使用ください。
- 本製品の機能・性能の確認のため、日常点検、定期点検を実施してください。

目次	頁
1. 製品用途、仕様、構造	1
(1) 用途	1
(2) 仕様	1
(3) 構造	2
2. 設置要領	3
(1) 製品質量	3
(2) 要領	3
3. 保守要領	4
(1) 日常点検	4
(2) 定期点検	4
○サービスネットワーク	

— ※「分解・組立要領」が必要な場合には、ご請求ください。 —

目次	頁
1. 製品用途、仕様、構造	1
(1) 用途	1
(2) 仕様	1
(3) 構造	2
2. 設置要領	3
(1) 製品質量	3
(2) 要領	3
3. 保守要領	4
(1) 日常点検	4
(2) 定期点検	4
○分解・組立要領	5
(1) 分解	5
1) 分解工具および消耗部品	5
2) 分解	6
3) 清掃	6
(2) 組立	7
○サービスネットワーク	

1. 製品用途、仕様、構造

(1) 用途

KT-5、5W、5F、5FW型ストレーナは、主として液体用に用いられるストレート形ストレーナで、配管内に混入した塵埃、砂、スケールなどの異物をネットで除去し、配管系の機器などを保護する目的に使用されます。

材質はステンレス鋼製ですので、クリーン流体に最適です。

(2) 仕様

型式		KT-5	KT-5W ^{注4}	KT-5F	KT-5FW ^{注4}
製品記号		KT5-D	KT5W-D	KT5F-D	KT5FW-D
呼び径		15～50			
適用流体		液体・蒸気・気体	液体・気体	液体・蒸気・気体	液体・気体
適用圧力		2.0MPa以下		1.0MPa以下 ^{注2}	
流体温度		150℃以下 ^{注1}	90℃以下	150℃以下 ^{注1}	90℃以下
端接続		Rc ネジ		JIS 10KFF ^{注2}	
材質	本体	SCS13			
	網	SUS			
網目		60メッシュ内張り ^{注3}			
許容差圧		0.1MPa以下			
耐圧試験		3.0MPa		1.5MPa ^{注2}	

※W：Oリングシール型 F：フランジ型

注1. 標準のガスケットは、PTFEです。

ノンアスベストガスケットで流体温度220℃以下も製作します。

注2. JIS 20KRFも製作し、適用圧力は2.0MPa、耐圧試験は3.0MPaです。

注3. パンチアミ、20、40、80、100メッシュも製作します。

注4. KT-5W、5FWは、水道法性能基準適合品です。



注意

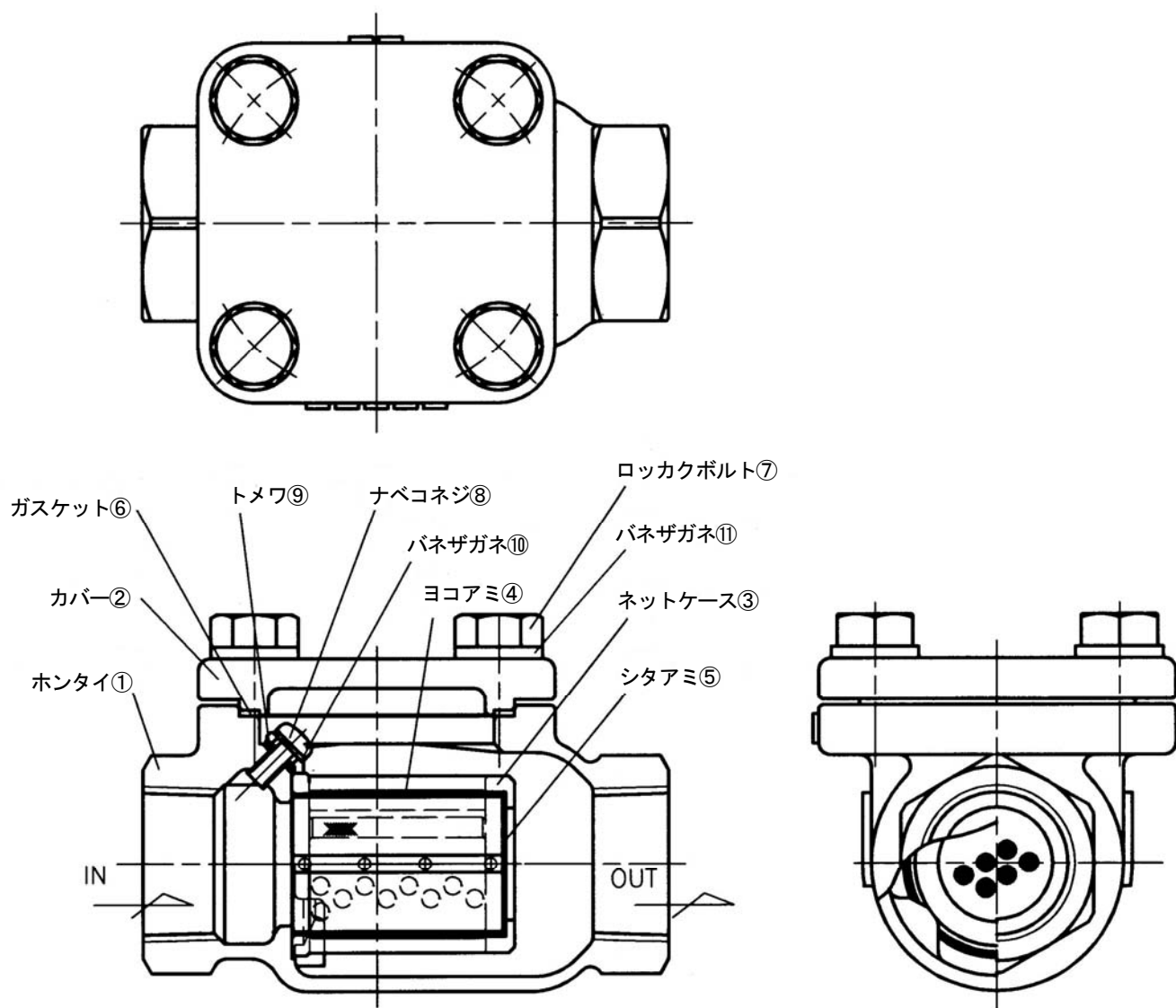
- 上記仕様が使用条件を満足することを確認してください。
- 上記の仕様を越えての使用はできません。

(3) 構造

K T - 5, 5 W, 5 F, 5 F W の種類の内、K T - 5 の構造図を表記します。

W : Oリングシール型 F : フランジ型になりますがネット部分の構造は、同じです。

K T - 5 (呼び径 1 5 ~ 5 0) の構造図



2. 設置要領

(1) 製品質量

呼び径	製品名	15	20	25	32	40	50
質量 (kg)	KT-5, 5W	0.4	0.7	1.0	1.7	2.3	3.5
	KT-5F, 5FW	2.2	2.8	4.1	5.7	6.6	8.3

(2) 要領



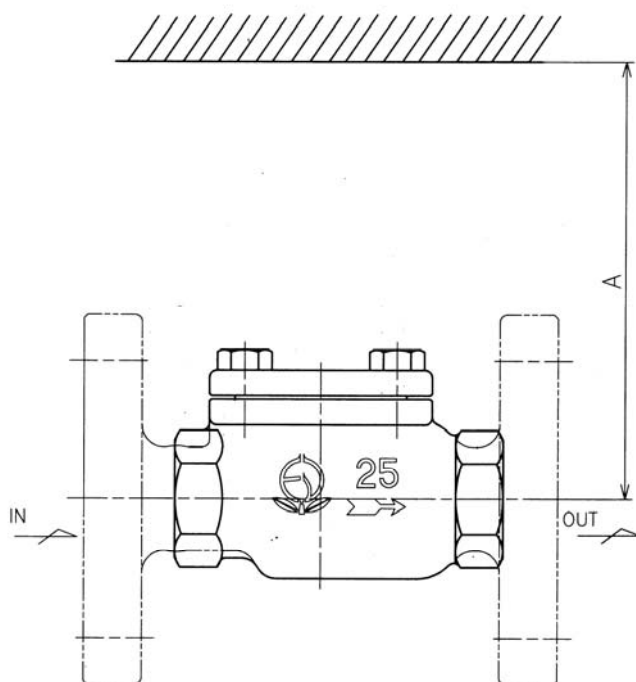
注意

- 製品を配管に接続する際には、製品の流れ方向を示す矢印と、流体の流れ方向を合わせて取付けてください。
※誤った取付けをした場合、製品の機能を発揮できません。
- 凍結の恐れのある場合は、水抜きや保温などをしてください。
※凍結による破損の恐れがあります。

1) 分解点検のため、ストレーナの上の空間は、下表の寸法以上確保してください。

(mm)

呼び径	15	20	25	32	40	50
A	200	200	200	200	250	250



A : ネットケースの取出しスペース

「注」この寸法は、ネットケースを取り出す為の最小寸法です。

小ネジが見えず分解し難い場合は、施工スペースAを大きく取るかカバーを横向きに取り付けてください。

2) 凍結が予想される場合には必ずストレーナを保温してください。

3. 保守要領



警告

ネットの清掃にあたっては、一次側の供給弁を止め、製品内の流体を徐々に排出して、圧力が零になっていることを確認すると共に、高温流体の場合は、本体を素手でさわられるまで冷してから行ってください。

※流体の吹出しにより、周囲を汚したり、怪我や高温流体の場合はやけどをする恐れがあります。



注意

- 本製品の機能・性能の確認のため、日常点検、定期点検を実施してください。
- 本製品の分解にあたっては、熟練した専門の方（設備・工事業者の方など）が実施してください。
一般のご使用者は分解しないでください。ネットの目詰まりや異常がある場合は、設備・工事業者または、当社に処置を依頼してください。
- 入口と出口の圧力差が0.1 MPa位になりましたらネットの清掃を行ってください。
ネットが目詰まりすると、流量不足やネットが破損する恐れがあります。

（１） 日常点検

点 検 項 目	処 置
流量の出具合 （ネット前後の圧力差）	ネット前後の圧力差が0.1 MPa以上になる前に 清掃を行なう。「分解・組立要領」参照
カバー締付け部からの外部漏れの有無。	ボルトの増締め、およびガスケット（Ｏリング）の 交換。「分解・組立要領」参照

（２） 定期点検

本製品の機能・性能を維持するため、定期的に分解点検を実施してください。

点 検 周 期	1 回／年
主 な 点 検 項 目	①ネットの目詰まり。 ②カバー締付け部からの外部漏れの有無。

分解・組立要領

（１） 分解



警告

本製品の分解にあたっては、一次側の供給弁を止め、製品内の流体を徐々に排出して、圧力が零になっていることを確認するとともに、高温流体の場合は、本体を素手でさわられるまで冷してから行ってください。

※流体の吹出しにより、周囲を汚したり、怪我や高温流体の場合はやけどをする恐れがあります。



注意

本製品の分解にあたっては、熟練した専門の方（設備・工事業者の方など）が実施してください。
一般のご使用者は分解しないでください。

１） 分解工具および消耗部品

分解前に必要な工具、消耗部品などあらかじめ用意します。

（６頁 分解図 参照）

工具名称	呼び	ストレナ 呼び径	工具使用箇所
スパナ	１０	１５	ロックボルト ⑦
	１３	２０、２５	ロックボルト ⑦
	１７	３２、４０	ロックボルト ⑦
	１９	５０	ロックボルト ⑦
プラスドライバー		１５～５０	ナベコネジ⑧
用 具	ウエス（柔らかい布など）、ワイヤーブラシ		

２） 消耗部品

製品名	呼び径	消耗部品	要求先
ＫＴ－５，５Ｆ	１５～５０	ガスケット⑥	(株)ベン
ＫＴ－５Ｗ，５ＦＷ		Ｏリング⑥	

３） 分解

（６頁 分解図 参照）

手順	分 解 要 領
	呼び径 １５～５０
１	ロックボルト⑦を緩めてバネザガネ⑩と一緒に取外し、カバー②を開き、ガスケット（ＫＴ－５Ｗ、５ＦＷの場合は、Ｏリング）⑥を取外します。
２	ナベコネジ⑧をドライバーで緩めて外し、ネットケース③をホンタイ出口側に移動しながらナベコネジ⑧、バネザガネ⑩、トメワ⑨と共に上に取出します。 ナベコネジ⑧、バネザガネ⑩、トメワ⑨は、分解しないで下さい。
３	ネットケース③からヨコアミ④及びシタアミ⑤を取外します。 清掃可能な場合は、取外す必要はありません。

４） 清掃

（６頁 分解図 参照）

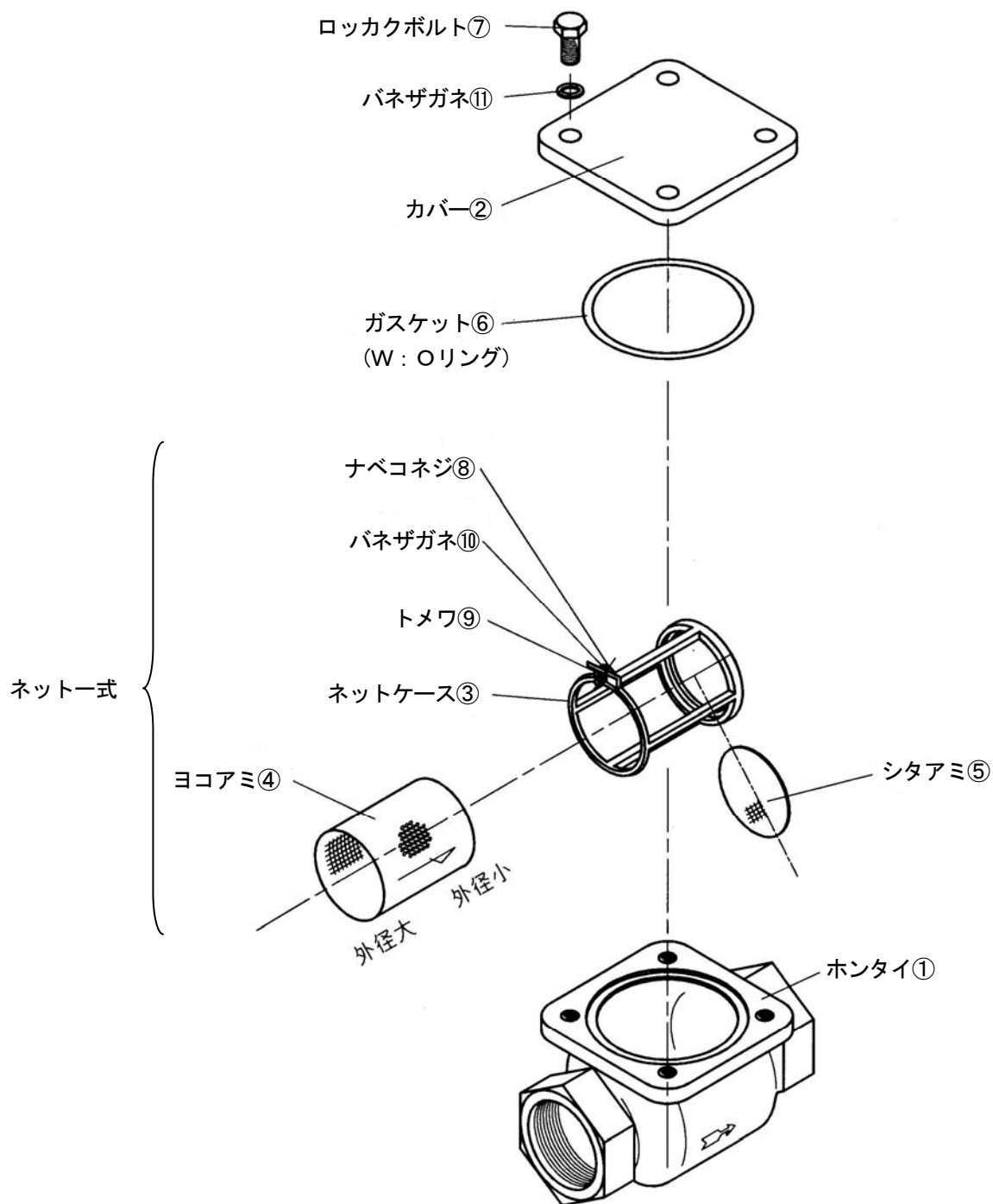
手順	要 領
	呼び径 １５～５０
１	各部品をウエスで清掃します。
２	ガスケット（ＫＴ－５Ｗ、５ＦＷの場合は、Ｏリング）⑥が破損している場合は、新品と交換します。
３	ヨコアミ④、シタアミ⑤が破損している場合は、新品と交換します。
４	ヨコアミ④、シタアミ⑤に付着している塵埃、砂、スケールなどをワイヤーブラシなどで落とし洗浄します。

分解図

K T - 5, 5 W, 5 F, 5 F W の種類の内、K T - 5 の構造図を表記します。

W : Oリングシール型 F : フランジ型になりますがネット部分の構造は、同じです。

K T - 5 (呼び径 15 ~ 50) の分解図



注 1) 部品名・部品番号は、呼び径によって異なる場合があります。部品交換などの手配の際には部品名・部品番号を、納入品図面をもとに指示してください。

注 2) W型は、Oリングシールでありガスケット⑥がOリングになり、カバーのシール部の寸法が変わります。

(2) 組立



注意

組立にあたっては、部品などは確実に組付け、ボルトは片締めとならないように対角上に均一に締付けてください。

組立は、分解と逆の手順で行います。

(6 頁 分解図 参照)

手順	要 領
1	損傷の激しい部品は、新品と交換します。
2	ネットケース③の側面からシタアミ⑤のメッシュを内側にしてネットケース③の底に挿入し、ヨコアミ④の外径の小さい方から図の方向よりネットケース③に挿入します。ヨコアミ④の端面がネットケース③端面より大きく出ている事を確認（注）し、ネットケース③のシタアミ⑤側を下にしてホンタイ①の出口側に向けて挿入後、入口側に移動しながらナベコネジ⑧の先端をホンタイ①のネジ部に寄せドライバーにてねじ込みます。
3	ネットケース③にガタツキがなくなり、バネザガネが平になるまでドライバーにてナベコネジ⑧を締付けます。締付トルクは、下記によります。
4	ガスケット（K T - 5 W、5 F Wの場合は、Oリング）⑥及びカバー② をホンタイ① に組付け、バネザガネ⑪をロッククボルト⑦に組付けて締付けます。締付トルクは、下記によります。

注：ヨコアミ④の端面がネットケース③端面より大きく出る原因は、ヨコアミ④がネットケース③の下部インロー部の上面に乗っている可能性があり、ヨコアミ④の下部がネットケース③の下部インロー部の内径に確実に挿入されていることを確認してください。

ボルト締付トルク

呼び径	1 5 A	2 0 A	2 5 A	3 2 A	4 0 A	5 0 A
ナベコネジ	M 4	M 4	M 4	M 5	M 5	M 6
締付トルク	2 N ・ m	2 N ・ m	2 N ・ m	3 N ・ m	3 N ・ m	6 N ・ m
ロッククボルト	M 6	M 8	M 8	M 1 0	M 1 0	M 1 2
締付トルク	6 N ・ m	1 8 N ・ m	1 8 N ・ m	3 0 N ・ m	3 0 N ・ m	5 0 N ・ m

以上で組立は終了です。

製品及び本取扱説明書に関するお問合せは下記へお願いします。

○サービスネットワーク

サービスネットワークについては、弊社ホームページ（二次元コード読込またはURL入力
（<https://www.venn.co.jp/>）の拠点情報より最寄りの営業所までお問合せ願います。

拠点情報 二次元コード

